

筑前剣道部だより

-思無邪- NO. 19

2023年8月号



玉竜旗高校剣道大会

令和5年7月25日から玉竜旗高校剣道大会が開幕。3年生にとっては最後の試合、大会までに先輩や保護者をはじめ様々な方々が多く来校して下さい、熱い激励を頂きました。本当にありがとうございました。

女子団体

1回戦目は、兵庫県の関西学院高校と対決。

相手校は兵庫県3位・近畿大会ベスト16の実力校。動画などで相手の動きや戦術を分析し、しっかりと戦える準備をした。試合開始、先鋒3年生清水は初太刀、開始線から思い切った面を出し審判の旗が1本上がる。惜しい！良いとこだった。その後も勢いそのまま落ち着いた試合を展開。終盤、攻めて相手の手元が上り変化してきた場面を上手く面に乗り、文句無しの本！大きな拍手が飛ぶ。見事に先鋒同士の戦いを制した。続く対次鋒戦。お互いに探り合いが続く。試合中盤、またしても攻めて乗った清水の面が決まった！一本先制。しかし、この後打ち合いの中で竹刀が相手に引っかけ、僅かな隙を面に乗られ引き分けとしてしまう。先鋒としてリードを作れた。続く次鋒本多は中堅と対戦。流れをなかなか掴むことができずに苦戦を強いられ、相手の上手さが際立つ小手、胸を続けざまに決められる。中堅武久も小手を2本とられ負け、悪い流れが続く。副将中村がなんとか踏み張り、引き分けとする。大将角と相手副将の試合となった。引き分けられたら試合終了。3分間の勝負である。初太刀、「始め」の合図と同時に面に跳ぶ。惜しい！強気の姿勢は今までの試合で培ってきたもの。良いスタートを切った。良く攻め、良い技が出たが、なかなか1本が遠い。



しかし大将として角が意地を見せる。残り30秒を切った所で出小手に行き、1本をもぎ取った。大歓声と共にいよいよ大将戦に持ち込んだ。勝負の一番、期待がかかる。なんと角は初太刀に強気で面に行った。正直監督も予想にしていなかった。それは相手選手も同じで、見事な面、綺麗に赤旗が3本上がった。今までの試合で一番良い面だった。だが勝負は甘くは無かった。中盤1本小手を返され、その後抜き面を打たれ逆転負け、敗退となった。試合に負けはしたものの3年生の試合はこれまでの中で一番良かったのではないかな。もちろん悔しさが残る試合ではあったが、確実に彼女らは成長を遂げた。この後ろ姿を目に焼き付け、後輩たちは次の大会でリベンジを果たして欲しい。清水・角、いい試合だった。お疲れさん。

審判	島井/福永	
試合科目	G-1-26	
パート	3	
大将	角	福井
副将	中村	木村
中堅	武久	水田
次鋒	本多	三浦
先鋒	清水	和多田
筑前	関西学院	



男子団体

1回戦目は、三重県の三重高校と対決。

三重県で準優勝、三重個人チャンピオンを先鋒に置き、個人インターハイ出場選手が2人いる強豪校。しかし、そのレベルのチームとは練習試合を幾度となく重ねてきており、気迫は十分、丁寧な準備をしてきた。

先鋒の國友に期待がかかったが、まさかの展開に。

試合序盤に小手をとられ、2本目の開始とともに面を合わせられすぐさま2本負けとなってしまった。続く末松、石井、川崎も相手の流れが強く、力の差がそこまでであった訳ではないのだが、勝負所を抑えられ負けてしまう。気が付けば大将の永尾が登場。さすが3年生、落ち着いて攻防をし、自分の良い場面を出して試合が展開できた。何本か惜しい技があったが旗は上がらず、最後は相手から逆胴を決められ時間となり敗退となった。予想外の5人抜きをされてしまった。決して悪い試合ではなかったが、もつと戦えていたのではないだろうか。監督として課題が残る試合となってしまった。

今回男子は3年生が1人のチーム。主将の永尾は目に見える場面以外に、その何倍も見えない場面で苦しい思いをしたと思う。その経験は本人しかわからない。だが、その経験を乗り越えて立派な剣道、人間力を身に付けてくれた。きっと将来の役に立つと確信している。永尾、いい試合だった。お疲れさん。

1・2年生は先輩の後ろ姿を見て、選手・チームとして大きな成長を見せてほしい。次回大会は新人戦。必ず筑前高校の名前が表彰台にあがる。それに期待し、これからの稽古に励みたい。

審判	福田/小林/原川	
試合科目	D-1-11	
パート	2	
大将	永尾	浅尾
副将	川崎	田中
中堅	石井	梅津
次鋒	末松	加藤
先鋒	國友	駒田
筑前	三重	



3年生は次の進路に向けて稽古はじめ！たまには道場に顔を出すように！後輩たちが待っています！

多くの応援ありがとうございました!!筑前高校まだまだ強くなります。宜しくお願いします。

